

逗子市地球温暖化対策実行計画の改定に関するパブリックコメントの実施結果について

ご意見をお寄せいただきありがとうございます。
お寄せいただきましたご意見に対する市の考え方をとりまとめましたので、ここに公表いたします。

1. 意見募集の期間 令和8年1月29日（木）～2月27日（金）
2. 意見の数 3件
3. 意見提出人数 1人（メール：1件）

4. 意見内容の概要	
対象計画	件数
太陽光発電設備導入	3件
合計	3件

5. 市の対応区分		
記号	対応区分	件数
○	意見を反映し、素案を修正するもの	0件
□	意見の趣旨や考え方が既に素案に盛り込まれているもの	0件
■	意見は反映させないが、今後の事業実施時等に参考とするもの	3件
▲	ご意見を反映することが困難なため、素案どおりとしたもの	0件
◆	今回のパブリックコメント対象外の内容であり、参考意見として扱うもの	0件
合計		3件

6. 意見の内容と市の対応					
意見概要	整理番号	意見主旨	採否	件数	採否の理由
太陽光発電設備導入 (地球温暖化対策実行計画)	1	逗子小学校周辺は、津波ハザードマップによれば3～4m程度の浸水が想定され、小学校が津波一時避難場所に指定されているのに、屋上に太陽光発電設備を設置されてしまうと、大勢の子供達や地域住民の緊急避難に支障を来すのではないのでしょうか。	■	1件	逗子小学校の太陽光発電設備は屋上の一部への設置であり、指定緊急避難場所（津波）に指定している逗子小学校の収容人数は従来の人数から変更なく確保しています。
	2	浄水管理センターは、市政方針の中で表明されたように今後、耐震診断に基づいた耐震化工事が想定されていますが、屋上に太陽光発電設備を設置されてしまうと、材料の搬入等施工時に支障を来すのではないのでしょうか。又、海辺に面した厳しい環境下では、カバーガラス表面に飛砂や飛塩等の異物付着により、発電効率が悪化するばかりか塩害による設備の老朽化が進み、更新時期が早まるのではないのでしょうか。	■	1件	具体的に設置検討する際は、いただいたご意見にもあるような施工時のリスク、設置後の発電効率、太陽光パネル廃棄時のリサイクルコスト等、より詳細な条件を加味して検討してまいります。
	3	太陽光パネルの寿命は25～30年程度と言われており、2000年代から普及し始めたパネルが2030年以降に大量に廃棄されることに多くの市民が懸念しています。一方、海外では太陽光パネルのリサイクルを義務化する法律やガイドラインが設けられており、適切な処理が行われる体制が整備されています。こうしたことから、太陽光発電施設の導入には国のリサイクル義務化への動向も踏まえ、リサイクルコストを盛り込むべきではないのでしょうか。	■	1件	